

平成 28 年度日本放射線技術学会中国・四国支部セミナーのご案内

「医療安全の取組を研究にできるのか」

主催：公益社団法人日本放射線技術学会中国・四国支部

共催：第 36 回大塚ゼミ

近年、診療現場では医療安全の取組は重要な案件として認識されています。日本放射線技術学会の主な構成メンバーである診療放射線技師の皆様も医療安全の取組を大きな課題として活動され、大きな成果をあげているかと思えます。

日本放射線技術学会は学術団体として研究論文の創出が最も重要な事業です。診療現場での医療安全への取組を研究論文として学術的に残すことは客観的なエビデンスを世界に示す事にもつながります。しかし、どうしたら医療安全を研究論文として生み出せるのか、悩ましいところです。

今回のセミナーでは、研究計画、医療安全の研究論文実績、さらに日本放射線技術学会医療情報部会リスクマネジメント班の活動を通して皆様からも意見をいただけるように長時間の討論会を企画しました。パネリストの先生のみならず参加者全員で意見交換できる場としたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日時：平成 29 年 1 月 7 日（土）13 時受付 13 時 30 分～17 時 30 分

会場：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟 1 階 多目的室 1

交通アクセス：<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/access/>

参加費：会員 1,000 円 非会員 2,000 円 学生無料（要学生証）

会員カードによる出席登録を行いますので会員証をご持参ください

プログラム

基調講演（13:30～15:40） 司会 山口大学医学部附属病院放射線部 上田克彦

1 「基本的な研究計画の考え方」

講師：香川大学医学部附属病院 臨床研究センター准教授 西本尚樹 先生

2 「医療安全に関する研究の実際（仮）」

講師：熊本大学医学部附属病院 医療技術部長 橋田昌弘 先生

討論会（16:00～17:30） 司会 山口大学医学部附属病院放射線部 上田克彦

「医療安全の取組を研究にできるのか」

パネリスト：JSRT 医療情報部会リスクマネジメント班（栢原班長）

熊本大学医学部附属病院 栢原秀一 先生

国立がん研究センター中央病院 麻生智彦 先生

山梨大学医学部附属病院 相川良人 先生

豊橋市民病院 市川 肇 先生

高井病院 土井 司 先生

熊本大学医学部附属病院 橋田昌弘 先生

川崎市立川崎病院 三宅博之 先生

以上